

2026 年度 4 月入学
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
博士後期課程学生募集要項
(入学定員増員に係る入試・2026 年 1 月)

2025 年 9 月

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

目次

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程学生募集要項

1. 募集人員	1
2. 出願資格	1
3. 個別の出願資格審査	2
4. 願書受理期間及び提出書類	5
5. 志望研究領域の選定	9
6. 試験日程・試験場所	9
7. 入学者選抜方法	9
8. 受験に際しての注意事項	9
9. 合格者発表	10
10. 個人情報の取扱いについて	10
11. 入学料及び授業料	10
12. 長期履修学生制度	10
13. 安全保障輸出管理について	11
14. 障がいのある学生への支援（合理的配慮）について	11
15. 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻入学試験会場案内	12

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程概要

1. 保健学専攻アドミッション・ポリシー	13
2. 課程	13

別表. 指導教員の研究領域・願書記載時略称一覧(博士後期課程)	15
---------------------------------	----

2026 年度 4 月入学 大阪大学大学院医学系研究科
保健学専攻 博士後期課程 学生募集要項
(入学定員増員に係る入試・2026 年 1 月)

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程の2026年度4月入学者について、文部科学省から入学定員増員の承認を得られましたので、増員に係る入学試験を次のとおり実施します。

1. 募集人員

保健学専攻 医療画像技術科学分野	3 名
------------------	-----

募集人員には、「臨床工学技士指導者育成プログラム 若干名」を含む。
本選抜では、医療画像技術科学分野のみ募集します。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者、又は次の各号のいずれかについて 2026 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(平成元年 9 月 1 日文部省告示第 118 号)
 - ① 我が国の大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - ② 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2026 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者。

注1)出願資格(6)、(7)、(8)により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査(「3. 個別の出願資格審査」参照)を行い、出願資格を認められた者のみが出願できます。

注2)出願資格(7)により出願しようとする者は、「3. 個別の出願資格審査」の記も参照してください。

3. 個別の出願資格審査

「2. 出願資格」の(6)、(7)、(8)により出願を希望する者は、出願に先立ち個別の出願資格審査を行いますので、指定期間内に下記書類を医学系研究科保健学事務室教務係(以下、「教務係」という)へ持参または郵送してください。

ただし、2025 年 6 月に本専攻博士後期課程の個別の出願資格審査に申請し、2025 年 11 月実施の博士後期課程入学試験に出願を認められた方は、今回の出願資格審査の申請は不要です。入学願書の出願資格/個別の入学試験審査認定番号欄には、2025 年 7 月に許可された個別の出願資格審査の入学試験審査認定番号を記載してください。

受付期間:

持参の場合	2025 年 11 月 19 日(水)午前 9 時～2025 年 11 月 21 日(金)午後 3 時(期限厳守) 各日、午前 9 時～同 11 時、午後 1 時～同 3 時
郵送の場合	2025 年 11 月 19 日(水)～2025 年 11 月 21 日(金)の消印(日本国内に限る)のあるものに限り受理します。必ず「簡易書留速達」郵便で封筒の表に「後期課程出願資格審査申請書類在中」と朱書きしてください。 宛先 : 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-7 大阪大学大学院医学系研究科保健学事務室教務係

資格審査申請に要する書類等一覧<<2. 出願資格の(6)、(7)に該当する者>>:

書 類	内 容
1. 出願資格審査申請書	本専攻ホームページに掲載されている所定の用紙を使用してください。
2. 出身大学の卒業証明書及び成績証明書	
3. 研究業績調書	本専攻ホームページに掲載されている所定の用紙を使用してください。
4. 既発表の代表論文	原著で査読のある論文 1 編を提出してください。
5. 在職期間証明書	実務経験のある方のみ、当該勤務機関等の所属長による証明を提出してください(様式任意)。 ※出願資格審査申請書の実務経験欄に記載したすべての経歴についてそれぞれ提出してください。
6. 返信用封筒	封筒(長形 3 号)に申請者の住所、氏名、郵便番号を記載し 760 円分の切手を貼付してください。

資格審査申請に要する書類等一覧<<2. 出願資格の(8)に該当する者>>:

書 類	内 容
1. 出願資格審査申請書	本専攻ホームページに掲載されている所定の用紙を使用してください。
2. 最終学歴の卒業(修了)証明書又は退学証明書	
3. 高等学校等卒業後の在籍学校にかかる成績証明書	
4. 研究業績調書	本専攻ホームページに掲載されている所定の用紙を使用してください。
5. 既発表の代表論文	原著で査読のある論文 1 編を提出してください。
6. 在職期間証明書	実務経験のある方のみ、当該勤務機関等の所属長による証明を提出してください(様式任意)。 ※出願資格審査申請書の実務経験欄に記載したすべての経歴についてそれぞれ提出してください。
7. 返信用封筒	封筒(長形 3 号)に申請者の住所、氏名、郵便番号を記載し 760 円分の切手を貼付してください。
8. 当該学校の入学資格、卒業又は修了に必要な修業年数・単位(時間)数のわかる書類	下記 I の(オ)に係る最終学歴(退学を含む)を有する者のみ提出してください。

※書類提出後、必要に応じ個別に書類の追加提出を求める場合があります。

※出願資格審査の結果は、本人に書面(簡易書留速達)で通知します。2025 年 12 月 16 日(火)までに審査結果が届かない場合は、教務係(i-hoken-kyomu@office.osaka-u.ac.jp)までメールで問い合わせてください。12 月 17 日(水)までに問い合わせがない場合は、受け取ったものとして取扱います。

記

修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者の個別の入学資格審査
文部科学大臣の指定した者として定める「大学院の入学に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者（平成元年 9 月 1 日文部省告示第 118 号）（出願資格（7）を参照）」の文言中、次の文言について、それぞれに規定する解釈により個別の審査を行い、該当することとなっている者を以て適格者とする。

- 1「大学を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了」とは、本研究科において「大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の個別の出願資格審査」を行い、適格と判定されたものを加える。（＊）
- 2「大学、研究所等において」とは、短期大学、外国の大学の日本分校、外国人学校その他国内外の教育・研究・臨床施設等を加えることができる。
- 3「研究に従事」とは、国際的活動、臨床実務に従事した時間を加えることができる。
- 4 既発表の代表論文（原著）一編
- 5「当該研究の成果等」とは、学術論文、著書、研究発表、特許（実用新案を含む）等のほか国際的活動の実績、教育・研究・臨床施設における特異な実績等をいう。

本研究科において行う「大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の個別の出願資格審査」（＊）

I 審査対象者の基準

次の左欄の学校の卒業、修了又は退学者で、右欄の期間の実務経験者を有する者（見込も含む）とする。

最 終 学 歴	実務経験等の期間（※）
（ア）修業年限 2 年の短期大学の卒業生	2 年以上
（イ）修業年限 3 年の短期大学の卒業生	1 年以上
（ウ）高等専門学校卒業生	2 年以上
（エ）修業年限が 2 年以上の専修学校の専門課程の卒業生	大学卒業までの最短修業年数（16 年）から専門課程を置く専修学校の修業年限を控除した期間以上
（オ）外国の大学の日本校、外国人学校、専修学校（専門課程を除く）、各種学校その他国内外の教育施設の卒業生又は修了者	大学卒業までの最短修業年限（16 年）から最終学校卒業又は修了までの最短修業年数（入学資格を同一とする学校を複数卒業又は修了している場合は、修業年限の最長のもののみ採用）を控除した期間以上
（カ）上記の（ア）から（オ）までに掲げる学校の退学者	大学卒業までの最短修業年限（16 年）から当該退学した学校の退学時までの修業年数を控除した期間以上。ただし、退学時までの標準履修単位（時間）数を修得していない場合は、修得単位（時間）数の相当年数を以て修業した年数とします。

※実務経験等の期間とは、以下の（1）～（5）の期間を合算したものをいいます。

- （1） 大学又は短期大学において、研究生として在学した期間
- （2） 短期大学及び高等専門学校に置かれた専攻科等に在学した期間
- （3） 大学・短期大学、官公庁、研究所、会社等の教育又は研究開発部門に教育職又は研究職として

- 研究に従事した期間
- (4) 病院等における臨床実務に従事した期間
- (5) 前各号に定める以外の期間については、当該期間毎に審査し、それぞれに一定の換算率を乗じて得た期間

Ⅱ 審査の基準

最終学歴、成績、実務経験の内容等を総合的に勘案して行います。

4. 願書受理期間及び提出書類

入学志願者は次に示す「出願に要する書類」等を取り揃えのうえ、願書受付期間内に教務係へ持参又は郵送してください。なお、出願前に指導を希望する教員と必ず連絡をとり、入学後の研究・教育について相談しておいてください。(別表:「指導教員の研究概要」を参照)その際に、入学願書に指導希望教員の捺印をもらってください。

受付期間：

持参の場合	2025年12月22日(月)午前9時～2025年12月24日(水)午後3時(期限厳守) 各日、午前9時～同11時、午後1時～同3時
郵送の場合	2025年12月22日(月)～2025年12月24日(水) 必着 必ず「簡易書留速達」郵便としてください。 宛先：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番7号 大阪大学大学院医学系研究科保健学事務室教務係

出願に要する書類等一覧表：

書 類	内 容
1. 入 学 願 書	本専攻ホームページに掲載されている所定の用紙 ※指導希望教員の捺印をもらってください。
2. 志 望 理 由 書	本専攻ホームページに掲載されている所定の用紙
3. 受 験 票 ・ 写 真 票	本専攻ホームページに掲載されている所定の用紙 ※上半身脱帽正面向きで3か月以内に単身撮影した顔写真を所定欄に貼付してください。
4. 成 績 証 明 書	ア. 大学院修士課程(博士前期課程)の成績証明書[ただし本研究科保健学専攻博士前期課程修了(見込)者は不要] ※編入学した者は、編入前の学校の成績証明書も提出してください。 イ. 大学改革支援・学位授与機構から修士の学位を授与された者は大学(短期大学)以降の全成績証明書 ウ. 出願資格(7)、(8)により出願する者は、提出不要です。
5. 修士課程修了(見込)証明書等	ア. 修士課程(博士前期課程)修了(見込)証明書 [本研究科保健学専攻博士前期課程修了(見込)者は不要] イ. 出願資格(7)、(8)により出願する者は、提出不要です。

6. 学 位 授 与 証 明 書	大学改革支援・学位授与機構から修士の学位を授与された者のみ提出してください。
7. 修士論文の内容の要旨	修士の学位を有する者のみ提出してください。
8. 検 定 料 納 入 証 明 書	検定料振込依頼書により、検定料 30,000 円を銀行振込にて納入し、検定料納入証明書を、本専攻ホームページに掲載されている所定用紙に貼付してください。なお、振込手数料は各自で負担してください。 <u>※本学大学院博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に入学する者は、検定料を納入する必要はありません。</u> <u>※国費外国人留学生の検定料の取扱いについては、教務係へ問い合わせてください。</u> ※大阪大学ホームページに記載しているとおり、災害により被災した志願者に対し、検定料免除の特別措置を講じます。 (https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/information) 詳しくは上述ホームページを確認のうえ、検定料を納入せず、教務係へ問い合わせてください。 納入済の検定料は返還しません。ただし、次の場合により検定料を振り込まれた場合は、検定料を返還します。 ①出願したが受験資格がなかった場合 ②出願書類受付期間後に書類が到着し、受理されなかった場合 ③出願書類に不備があり受理されなかった場合 ④検定料を払い込んだが出願しなかった場合 ⑤検定料を誤って二重に振り込んだ場合 返還請求については、教務係(i-hoken-kyomu@office.osaka-u.ac.jp)へ申し出てください。
9. 発 送 票	本専攻ホームページに掲載されている所定の用紙を使用してください。 ※住所を変更した場合は、早急に教務係に連絡してください。
10. 受 験 票 送 付 用 封 筒	封筒(長形 3 号)に入学志願者の氏名、住所及び郵便番号を明記し、460 円分の郵便切手を貼付してください。
11. 住民票又は 在留カードの写し	【日本に在住する外国人の志願者のみ提出】 市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「住民票の写し」又は「在留カードの両面の写し」を提出してください。 ※出願者以外の世帯員については、証明不要です。 (注)法務大臣が日本での永住を認めた者については、提出する必要はありません。
12. パ ス ポ ー ト の 写 し	【海外に在住する外国人の志願者のみ提出】 顔写真のあるページを提出してください。
13. 戸 籍 抄 本	【結婚等で現在の姓が各証明書類と異なる方のみ提出】※卒業証明書・成績証明書等記載氏名との確認のため。 ※本学卒業者であっても該当する場合は提出が必要です。
14. 出願資格(6)に相当する 審査合格確認(証明)書類	・出身大学長等が作成(署名)したもので、下記の内容が記載されたものを提出してください。

(出願資格(6)により出願する場合のみ該当)	【様式例】□□大学としては、本学の学生である◇◇◇◇氏は、「(審査名称)」に合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者であることを確認し、報告いたします。また、当該審査に関する以下の添付資料を同封します。 【添付資料の例】 ・当該審査の合格の基準 ・当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す資料 ・当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す資料
15. 英語外部検定試験の結果	後述の「英語外部検定試験の結果提出に関する留意事項」に従い、2023年12月以降に実施の英語外部検定試験の成績(分野が指定するスコア)を提出してください。 ※スコアの提出は、出願時あるいは入学試験日とします。ただし、出願時に提出した場合でも入学試験日の再提出を認めます。 ※出願時にスコアを未提出の者及び出願時に提出し入学試験日に再提出する者は、入学試験日当日に各口述試験控室において、控室監督者の指示により成績原本を提出してください。 ※各スコアは手元に届くまで一定期間を要するので、余裕を持って各英語外部検定試験を受験しておいてください。 ※スコアの改ざん等を行った者は、入学後であっても入学を取消したり、当該課程の学位取得後であっても学位を取消したりすることがあります。 ※提出された各スコアの原本は返却します。

英語外部検定試験の結果提出に関する留意事項：

分野	注意事項
医療画像技術科学	TOEFL-iBT®、IELTS(Academic Module)又は TOEIC (Listening and Reading test)のスコア(成績)の原本(郵送で受験者の手元に届くスコア)を提出してください。 ※原本(紙面)以外は受け付けません。個人のアカウントページ等からダウンロード(印刷)したスコアは受理しません。 受理するスコアは次のいずれかとし、複数のスコアの提出があった場合、選抜にあたっては、最も高い評価点のものを採用します。 ■TOEFL の受験者用控えスコアレポート:Examinee Score Report 又は Test Taker Score Report【注】 ■IELTS の成績証明書:Test Report Form ■TOEIC の公式認定証:Official Score Certificate 【注】紙面の発行には、事前の申込が必要です。詳しくは、ETS ホームページにて確認してください。 * TOEFL iBT® Home Edition、TOEFL-ITP(団体特別受験制度)、IELTS General Training Module、IELTS Indicator、TOEIC IP、TOEIC Speaking & Writing Tests、TOEIC Speaking Test、TOEIC Bridge Test 等のスコアは利用不可とします。 * TOEFL-iBT ®は、Test Date Scores のみを出願スコアとし、MyBest Scores は利用しません。 * TOEFL の場合、ETS(Educational Testing Service)から直接志願大学等にスコアが送付される Official Score Report による提出を認めません。 * IELTS の場合、公益財団法人日本英語検定協会から直接志願大学等にスコアが送付される方法による提出は認めません。

※出願に際しての注意事項

- 1) 出願書類に不備がある場合は、原則として受理しません。また、出願後は原則として記載事項の変更は認めません。
- 2) 受理した出願書類は、理由のいかんにかかわらず一切返還しません。
- 3) 障がい等を有する者等で、受験に際して特別な配慮を希望する者は、出願までに教務係あてにメール(i-hoken-kyomu@office.osaka-u.ac.jp)で相談してください。審査のうえ、配慮事項を決定します。
 - ・メールの件名を「受験上の配慮の事前相談」として、申請希望者氏名、メールアドレス、電話番号(日中に連絡のつきやす番号)、志望分野、希望する配慮内容を送付ください。
 - ・出願後の申請については、受験上の配慮が講じられないこともありますので、なるべく早く相談してください。
 - ・日常生活において、ごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合であっても、受験上の配慮として申請してください。

(配慮の例)

車椅子の持参使用。薬を机の上に設置、試験時間中の薬の服用。身障者用トイレの使用。試験場への乗用車での入構、等。
- 4) 入学願書の履歴、入学資格等につき虚偽の記載をした者は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- 5) 日本語または英語以外の言語で記載された証明書類等がある場合、日本語または英語訳を添付してください。

- 6) 本募集要項のほか、本専攻のホームページ大学院入試ページで募集要項と共に掲載しているQ&Aも確認してください。
- 7) 本選抜は、「優秀な私費外国人留学生に対する授業料免除制度（特待留学生授業料免除制度）」の対象ではありません。

5. 志望研究領域の選定

志願者は、別表「指導教員の研究領域・願書記載時略称一覧」に示す研究領域の中から1研究領域を選んでください。

6. 試験日程・試験場所

試験日：2026年1月21日（水）

場所：大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻（吹田市山田丘 1-7）

試験時間割：

分 野	試験内容	時 間
医療画像技術科学	口述試験	13:00～18:00

7. 入学者選抜方法

○医療画像技術科学分野

英語外部検定試験の成績、口述試験、並びに成績証明書等の内容を総合して行います。

(1) 口述試験

志望する研究領域に関する実践能力、研究能力等について個別に口述試験を行います。口述試験の発表方法（パソコン等の機器使用）は、研究領域により異なりますので、詳細は指導を希望する教員と必ず打ち合わせしてください。

修士論文あるいは、これまでの研究内容について発表し、それをもとに質疑応答を行います。

(2) 英語外部検定試験の成績

2023年12月以降に実施の英語外部検定試験の成績（分野が指定するスコア）を利用します。スコアの提出は、出願時あるいは入学試験日当日とします。ただし、出願時に提出した場合でも入学試験日の再提出を認めます。出願時にスコアを未提出の者及び出願時に提出し入学試験日に再提出する者は、入学試験日当日に各口述試験控室において、控室監督者の指示により成績原本を提出してください。

8. 受験に際しての注意事項

- (1) 試験に関する注意事項（試験室配置図及び受験者心得等）を受験票と共に返信用封筒にて試験日の一週間前までに郵送します。
- (2) 試験当日は、指定された座席に試験開始 15 分前に着席してください。
- (3) 受験に際しては受験票を必ず持参してください。なお、受験票は入学に関する諸手続にも必要なので、紛失しないよう大切に保管しておいてください。
- (4) 受験のための宿泊施設等の斡旋はしません。
- (5) 自家用自動車及びオートバイ（原動機付自転車を含む）での大学構内への入構はできません。
- (6) やむを得ない理由により、入試日程や試験内容に変更が生じる可能性があります。最新の情報は本専攻ホームページに事前に掲載しますので、適宜確認をしてください。

9. 合格者発表

2026年2月13日(金)13時30分

上記日時に保健学科棟 1F 掲示板に合格者の受験番号を発表するとともに、本専攻ホームページにも同発表を掲載します。合格者には出願時に提出された「発送票」の住所へ合格通知書を簡易書留郵便で送付します。電話等による可否の問い合わせには一切応じません。(不合格者への通知は行いません。)

なお、入学手続きについては、合格通知の際に通知します。

※合格通知書及び 1F 掲示板に掲示する合格者受験番号表が正式通知となります。

※合格者の受験番号のホームページへの掲載は、情報提供の一環として行うものです。システムトラブル等、やむを得ない事態が生じた場合、ホームページへの掲載を一時中断することがあります。

10. 個人情報の取扱いについて

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜(出願処理、選抜試験実施)」、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。なお、入学者については、「教務関係(学籍管理、修学指導等)」、「学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等)」及び「授業料収納に関する業務」を行うためにも利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、「入試結果の集計・分析」「入学者選抜方法の調査・研究」及び「学生支援関係(奨学金申請等)」のために利用します。
- (3) 前記の(1)及び(2)の業務を行うに当たり、一部の業務を外部の事業者へ委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出された個人情報の全部または一部を提供します。
- (4) (1)及び(2)で得られた個人情報は、上記のほか、「入学者選抜方法及び大学教育の改善」、「大学の管理運営(各種調査・分析、事業企画等)」のために利用することがあります。ただし、個人が特定される形で、その成果が公表されることはありません。

11. 入学料及び授業料

1) 入学料……282,000 円

2) 授業料……年額 535,800 円〔半期 267,900 円〕

※本学大学院博士前期課程、修士課程又は法科大学院の課程を修了し、引き続き博士後期課程に入学する者は、入学料を徴収しません。

※入学料、授業料の金額については変更することがあります。

在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

12. 長期履修学生制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて計画的に教育課程を履修することが出来る制度です。条件を満たし希望する者は申請することができます。

詳細は、本専攻ホームページに掲載している長期履修制度の要項(<https://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/jpn/procedure/gakui-shinsei-longterm.html>)を参照ください。申請方法は、入学手続き案内ページにおいて案内します。

13. 安全保障輸出管理について

本学では「外国為替及び外国貿易法」に基づき「大阪大学安全保障輸出管理規程」を定めて貨物の輸出、技術の提供（人の受入を含む）について厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、合格しても入学が認められない場合や、希望する教育が受けられない又は研究が実施できない等の制限がかかる場合がありますのでご注意ください。詳細については、ウェブサイトを参照してください。

（日本語） https://www.osaka-u.ac.jp/ja/research/secur_exp/outline

（英語） https://www.osaka-u.ac.jp/en/research/secur_exp/outline

14. 障がいのある学生への支援（合理的配慮）について

本学では、障がいの種別や程度に関わらず、学生が教育を受けるという基本的権利を擁護するために合理的な配慮を行うことを大学の責任と考えています。その理念に基づき、各学部・研究科等が学業および学生生活において、障がいのある学生が他の学生と同じように過ごすことができる教育環境を提供できるように、キャンパスライフ健康支援・相談センター（相談支援部門アクセシビリティ支援室）を設置し、本専攻と連携を取りながら支援体制を整えています。

支援（合理的配慮）の申し込み手続きなど詳細は、合格後に教務係へお問い合わせください。

15. 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻入学試験会場案内

○利用交通機関

- [バ ス] 阪急バス 千里中央発「阪大本部前行」 ※運行本数が少ないため注意
近鉄バス 阪急茨木市駅発「阪大本部前行」(JR 茨木駅経由)
いずれも阪大本部前下車、徒歩約 5 分
- [モノレール] 大阪モノレール 阪大病院前駅下車(西へ徒歩約15分)
- [電 車] 阪急電車千里線 北千里駅下車(東へ徒歩約 25 分)

○キャンパスマップ



医学系研究科
保健学専攻試験会場

【問い合わせ先】

大阪大学大学院医学系研究科 保健学事務室教務係
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番7号
電話: 06-6879-2512
E-mail: i-hoken-kyomu@office.osaka-u.ac.jp

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程概要

1. 保健学専攻アドミッション・ポリシー

【求める人材像】

博士後期課程では、保健医療科学の分野で、グローバルな知識を持ち、国際的なリーダーシップを発揮できる研究者の育成を目的としています。医療界のみならず産業界からも期待され、将来の保健医療福祉分野において国際的な貢献を目指す、多角的な視野を持つ人を求めています。

- (1) 高い倫理観のもと保健医療分野での研究を通して人々の健康と福祉に貢献できる人
- (2) 新たな医療技術の開発や生命現象の解明に情熱をもって取り組む人
- (3) 新たな分野を萌芽的な段階の研究から切り開いていく資質を持つ人
- (4) 自らの専門分野にとどまらず他領域との融合による新たな展開を図る資質を持つ人
- (5) 高い語学力を有し、多角的な視野を持つ人
- (6) 高いコミュニケーション力を有し、リーダーシップを発揮する資質を持つ人

【入学選抜の基本方針】

上記の人材を受け入れるため、学力検査(医療検査技術科学分野のみ)、口述試験および出願書類を総合的に評価して選抜を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

(2)～(5)の資質および能力については学力検査および出願書類を総合的に評価するとともに、口述試験における出願者のこれまでに実施した研究の発表とそれに対する質疑応答を通して評価します。

(1)および(6)については口述試験および出願書類を総合的に評価します。

2. 課程

博士課程は、前期2年の課程及び後期3年の課程と区分し、前期課程は、修士課程として取り扱います。

前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、統合保健看護科学及び医療技術科学分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的としています。

後期課程は、統合保健看護科学及び医療技術科学分野の研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事する必要の高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としています。

希望者はがん医療に関わる専門職・研究者を養成する教育・研究コース(がんプロコース)を履修できます。これは我が国のがん医療の状況を改善するため平成18年度に制定された「がん対策基本法」第14条に定められた「がん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医療従事者の養成を図るために必要な施策」を背景に文部科学省の教育プログラムとして平成19年度からスタートし、第一期から令和3年度で終了となった第三期までに多くの医療人を輩出しました。令和5年度に第四期となる新たなプログラムが開始となりました。令和5年度より、保健学専攻では高度医学物理士養成コースがあります。入学後、このコース志望の大学院生は他の学生と別のカリキュラムを受講してもらいます。本コースは入学後のコース選択となります。

※がんプロコースを志望する学生は、出願に先立ち、下記の担当教授に必ず問い合わせてください。

高度医学物理士養成コース(医療画像技術科学分野)西尾禎治教授

mail: nishio@sahs.med.osaka-u.ac.jp

また、令和 4 年度から、臨床工学技士指導者を目指す研究者を育成するプログラムを履修できます。これは、今後の医療のニーズに応える目的で、臨床工学技士育成の指導者数が十分でない現状を打開するために臨床工学を極めた指導者を養成するプログラムとなります。詳細は、「臨床工学技士指導者育成プログラム」のページ(<https://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/jpn/admissions/rinsho-kougakugishi-program.html>)を参照してください。また、志望する学生は出願に先立ち下記の担当教授に必ず問い合わせてください。

プログラム責任教員 上野高義教授 mail:uenotm@sahs.med.osaka-u.ac.jp

(1)リカレント教育の重視

仕事で求められる能力を磨き続ける社会人の学びを重視し、長期履修学生制度を設けるとともに、社会的役割の遂行と本専攻での履修が両立するよう、授業または研究指導を夜間や休日、夏季・冬季の休業期間等に行うほか、情報ネットワーク等を活用して行います。これら履修計画については、指導教員との調整を踏まえて作成します。

(2)修了の要件

博士後期課程に 3 年以上在学し、授業科目について所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受け、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければなりません。

ただし、在学期間に関しては、特に優れた研究業績を上げた者については、研究科教授会が認めた場合に限り、修士課程又は前期課程における 2 年の在学期間と通算して 3 年以上在学すれば足りるものとします。

(3)学位

本課程を修了した者には、学位規則(昭和 28 年文部省令第 9 号)の定めるところにより、博士(保健学)又は博士(看護学)の学位を授与します。

別表. 指導教員の研究領域・願書記載時略称一覧(博士後期課程)

Appendix ”List of Research Areas of Supervisors and Abbreviations for Application Form”

研究テーマ・連絡先は、大阪大学医学系研究科保健学専攻HP 研究室・部門 のページをご覧ください。
For research themes and contact information, please refer to the page of Research Laboratories and Departments on the website of the Division of Health Sciences, The University of Osaka Graduate School of Medicine.

URL : <https://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/jpn/departments/>

保健学研究プログラム／Division of Health Sciences

分野 Area	研究領域[研究室名] Department[Research Field]		研究領域(願書記載時) Department (At the time of application)	氏名 Chief	研究内容 Research content
A r e a o f M e d i c a l I m a g i n g T e c h n o l o g y a n d S c i e n c e	医療画像技術科学 1 [分子イメージング学研究室]		放1	福地 一樹	核医学技術と分子イメージングによる生体機能計測に関する研究
	Area of Medical Imaging Technology and Science 1 [Nuclear Medicine and Molecular Imaging]		R1	FUKUCHI Kazuki	Research on biofunctional measurement using nuclear medicine technology and molecular imaging
	医療画像技術科学 2 [生体機能イメージング研究室]		放2	小山内 実	脳・神経系機能解明のためのマルチスケール・マルチモーダルイメージング
	Area of Medical Imaging Technology and Science 2 [Physiological Functional Imaging]		R2	OSANAI Makoto	Multiscale and multimodal imaging for unraveling the function expression mechanisms of brain and nervous system.
	医療画像技術科学 3 [医学物理学研究室]		放3	西尾 禎治	粒子線治療を中核とする医学物理学研究
	Area of Medical Imaging Technology and Science 3 [Medical Physics]		R3	NISHIO Teiji	Medical physics research and development on radiation detection and measurement system, imaging, and software in radiation therapy, especially particle therapy
	医療画像技術科学 4 [臨床画像医学研究室]		放4	大西 裕満	最新画像技術を用いた疾患の病態解析に関する研究
	Area of Medical Imaging Technology and Science 4 [Clinical Imaging]		R4	ONISHI Hiromitsu	Research on the analysis of pathological conditions using the latest imaging technology
	医療画像技術科学 5 [医用光学研究室]		放5	近江 雅人	光断層イメージング（OCT）の開発と表皮下生理機能解析・皮膚科分野への応用研究
	Area of Medical Imaging Technology and Science 5 [Biomedical Optics]		R5	OHMI Masato	Study of optical coherence tomography Basic and application to skin physiology and dermatology
	医療画像技術科学 6 [病態超音波医学研究室]		放6	鎌田 佳宏	超音波検査を用いた消化器疾患の研究 消化器疾患の基礎・臨床研究
	Area of Medical Imaging Technology and Science 6 [Department of Advanced Metabolic Hepatology]		R6	KAMADA Yoshihiro	Research on digestive diseases using ultrasonography Basic and clinical research on digestive diseases
	医療画像技術科学 7 [画像科学技術研究室]		放7	石田 隆行	人工知能（AI）・高度画像処理の医療応用
	Area of Medical Imaging Technology and Science 7 [Image Science and Technology]		R7	ISHIDA Takayuki	Medical application of artificial intelligence(AI) and advanced image processing
	医療画像技術科学 8 [放射線治療生物学研究室]		放8	高橋 豊	光子線・重粒子線と免疫変調による難治性腫瘍の遠隔転移制御に関する研究
	Area of Medical Imaging Technology and Science 8 [Therapeutic Radiation Biology]		R8	TAKAHASHI Yutaka	Research on control of distant metastasis of treatment-refractroy tumors using photon or heavy ion beams with immune modulation
		医療画像技術科学 9 （粒子線治療学） ＜連絡教員：西尾 禎治＞	放9	沖本 智昭 【兵庫県立粒子線医療センター】	粒子線治療の臨床及び医学物理学研究
		Area of Medical Imaging Technology and Science 9 (Particle Therapy)	R9	□ Hyogo Ion Beam Medical Center□ OKIMOTO Tomoaki	Research and development of heavy ion and proton beam therapy physics and biophysics
		医療画像技術科学10 （医用画像解析学） ＜連絡教員：小山内 実＞	放10	上口 貴志 【情報通信研究機構 未来ICT研究所 脳情報通信融合研究センター】	画像診断技術(MR、CT等)に関する医学物理学・画像工学・情報科学的研究
		Area of Medical Imaging Technology and Science 10 (Medical Imaging Science)	R10	□ Center for Information and Neural Networks, Advanced ICT Research Institute, National Institute of Information and Communications Technology□ UEGUCHI Takashi	Advanced diagnostic imaging (MR, CT, etc.) from medical physics, image engineering, and information science perspectives
		医療画像技術科学11 （多職種チーム医療に基づくがん医療学） ＜連絡教員：遠藤 誠之＞	放11	調整中 【静岡県立静岡がんセンター】	医療情報に基づくがん医療支援に関する研究
		Area of Medical Imaging Technology and Science 11 □ Cancer Care Based on Multi-professional Team Approach□	R11	□ Shizuoka Cancer Center□ under adjustment	Cancer Patient Support Provided in Accordance with Medical Information

研究テーマ・連絡先は、大阪大学医学系研究科保健学専攻HP 研究室・部門 のページをご覧ください。
For research themes and contact information, please refer to the page of Research Laboratories and Departments on the website of the Division of Health Sciences, The University of Osaka Graduate School of Medicine.

URL : <https://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/jpn/departments/>

臨床工学技士指導者育成プログラム/ Program to Nurture Trainers for Clinical Engineers

分野 Area	研究領域[研究室名] Department[Research Field]	研究領域(願書記載時) Department (At the time of application)	氏名 Chief	研究内容 Research content
技 医 術 療 科 画 学 像	医療画像技術科学 1 2	放12	近江 雅人	臨床工学に基づいた実臨床に結び付く技術の開発
	Area of Medical Imaging Technology and Science 12	R12	OHMI Masato	Development of new technology based on clinical engineering

※「選考中」・「調整中」の領域については、指導教員未定のため記載できません。
※Areas marked "under adjustment" cannot be listed because the supervisor has not yet been determined.